「医学用語シソーラス」と索引作業

"Thesaurus for Medical and Health Related Terms" and its application for indexing

浜田 雅美¹ | 佐久間 せつ子¹ | 三沢 一成¹

HAMADA Masami¹; SAKUMA Setsuko¹; MISAWA Kazunari¹

.....

¹ 特定非営利活動法人 医学中央雑誌刊行会 (〒168-0072 東京都杉並区高井戸東2-5-18)

Tel : 03-3334-7575 FAX : 03-3334-0497 E-mail : hamada-m@jamas.or.jp

¹ Japan Medical Abstracts Society (2-5-18 Takaide-higashi Suginami-ku, Tokyo 168-0072)

原稿受理 (2008-10-14)

(情報管理 51(9):642-652)

1. はじめに

医学中央雑誌刊行会（以下、当会）は、国内医学文献の二次資料である『医学中央雑誌』を1903年に発刊し、以来、抄録・索引誌として冊子体を刊行してきた。1983年にコンピュータ編集を開始することで、『医学中央雑誌』の内容を電子データとして保有できるようになったことを契機に、1992年に「医中誌CD-ROM」版を発行し、さらに2000年からは、インターネットを介した検索サービス「医中誌Web」を提供するようになった。「医中誌Web」には、1983年以降の作成データを収録している。対象とする分野は、医学に加えて、歯学、薬学、看護学、獣医学、およびその関連領域であり、それらの定期刊行物を網羅的に収集し、書誌事項、抄録、索引等からなる文献情報を提供している¹⁾。

「医中誌Web」において、適切で効率的な検索をするために、特に大きな役割を果たすのが、索引である。当会では専門の索引者が、実際に個々の文献に目を通し、著者が特に表現したい内容（主題）を把握し、それを表す適切な索引語（ディスクリプタ、副標目、チェックタグ（後述））を付

与する。

本稿では、当会の索引および検索のツールである「医学用語シソーラス」を、索引ルールや、データベース作成システムにおけるその活用にも触れながら紹介する。

2. 医学用語シソーラス

文献内容から重要な概念を抽出し、それを表す索引語が、ディスクリプタ（見出し語）である。「医学用語シソーラス」は、医学文献で扱われるさまざまな主題（疾患名、治療法、解剖名、等）に関するディスクリプタを、体系的にまとめたものである。「医中誌Web」で提供しているデータの索引は、この「医学用語シソーラス」に基づいて行われる。

「医学用語シソーラス」は1983年に、それまで索引誌で使用されていた件名をまとめた「医中誌索引誌件名標目集」を基に、第1版が刊行された。1994年発行の第3版より、用語の収録範囲やカテゴリーの構成を、米国国立医学図書館（NLM）が発行するシソーラスMedical Subject Headings（以下、MeSH）に準拠したものとした。その後2度の改訂

を経て、2007年にMeSH2005に準拠した第6版を刊行した（表1）²⁾。

2.1 「医学用語シソーラス」の収録語

「医学用語シソーラス」第6版には、25,317語のディスクリプタが収録されている。このうちMeSH由来語は、22,647語（MeSH2006、2007からも一部収録）であり、MeSH2005の22,997語のうち約90%を収録している。

「医学用語シソーラス」には、これ以外に、国内医学で必要な2,670語も収録している。その内訳は、医薬品の国際一般名（INN）、生薬名（「日本薬局方」、「日本薬局方外生薬規格1989増補版」より）、漢方処方名（JAPIC医薬品集より）、日本の医療制度に基づく用語（「介護保険」、「療養病床」等）、MeSHでは比較的登録の少ない看護に関する用語、等である。種類別のディスクリプタ数を表2に示す。これらは、MeSHのTree Numberを基に作成したカテゴリーコードに枝番を追加する方法で位置づけた。

なお、MeSH2005収録語のうち、第6版には採用しなかったものが548語ある。国内医学では必要性が低いと判断したもので、その内訳は、アメリカの医療制度に基づく用語（“Blue Cross”，等）、アメリカの地名、歴史的イベントの用語（“September 11 Terrorist Attacks”，等）、Publication Characteristics（出版特性：医中誌Webでは、論文種類、研究デザインタグなどが相当する）、等である。

2.2 収録語の関連づけ

「医学用語シソーラス」では、索引・検索において、適切なディスクリプタを見だしやすいように、用語間およびディスクリプタ間を関連づけている。以下に、それらの関連づけについて説明する。

2.2.1 ディスクリプタと同義語

「医学用語シソーラス」では、同じ概念を表す用語が複数ある場合、索引や検索に優先して使用する用語をディスクリプタとして示し、それ以外の用語を同義語として関連づけている。

表2 医中誌独自収録語内訳

内 訳	ディスクリプタ数 ()内は新設語	
国際一般名 (INN)	1,666	(262)
漢方薬	148	(1)
生薬	169	(74)
地名	90	(90)
看護・介護	70	(5)
日本独自の制度・機関	97	(19)
解剖名	42	(8)
生物名	11	(8)
疾患名	101	(3)
物質名	40	(0)
診断・治療の手技	100	(8)
その他	136	(8)
合計	2,670	(486)

表1 「医学用語シソーラス」各版概要

版	第1版	第2版	修正版	第3版	第4版	第5版	第6版
発行年	1983	1987	1990	1994	1999	2003	2007
準拠したMeSH	1978	1984	1984	1991	1997	2001	2005
ディスクリプタ数	13,485語	17,882語	17,926語	14,454語	18,156語	21,378語	25,317語
最深カテゴリー	3階層	4階層	4階層	7階層	11階層	12階層	12階層
医中誌DBの主な提供媒体	冊子体	冊子体	冊子体	CD-ROM	CD-ROM	Web	Web

当会の用語管理のシステムには、ディスクリプタに対応した約30万語の同義語を登録している。例えば、医薬品では、国際一般名（INN）のアルファベット表記をディスクリプタとし、カタカナ表記、商品名、化学名、治験番号を同義語として登録している（表3）。多数の同義語をディスクリプタと関連づけることにより、利用者が思いついた用語から、ディスクリプタに到達できるようになっている。

なお、「医中誌Web」の検索では、入力した語が同義語辞書に登録されている語と一致した場合、ディスクリプタに自動的に案内されるマッピング機能が働き、シソーラスを意識しなくても、モレの少ない検索が可能となっている。

シソーラスに基づき人手で行う索引の大きな特長は、個々の文献では、さまざまに表現される1つの概念に対して、統一したディスクリプタを付与することで、これらを網羅的に検索できることである。例えば、文献で“胃癌”，“胃がん”，“胃悪性腫瘍”等さまざまな表現で記載されていても、すべてディスクリプタである「胃腫瘍」を付与する。さらに“胃に原発した癌”というように、1つの単語として表現されていない場合でも、索引者はそ

こに記載されている概念に対して、「胃腫瘍」を付与する。反対に，“胃癌以外の”というように，“胃癌”という単語が含まれていても、胃癌について述べられていなければ、「胃腫瘍」は付与しない。このように、索引者による文献内容に応じたディスクリプタの付与により、単なる文字列検索ではなし得ない、適切で網羅的な検索が可能になっている。

2.2.2 カテゴリーコード

「医学用語シソーラス」では、ディスクリプタを15のカテゴリーに分類し（表4）、概念の広さを階層づけするために、ディスクリプタごとにユニークなカテゴリーコードを付与している。

そして、ディスクリプタの概念に、複数の観点からみた分類がある場合、複数のカテゴリーコードを付与している。例えば、「AIDS」には、感染経路からみた分類、発症まで長い潜伏期間を持つという特徴からみた分類、病原微生物の生物分類が

表4 第6版カテゴリー別ディスクリプタ数

カテゴリー	ディスクリプタ数 ()内は新設語	
A:解剖学	1,483	(102)
B:生物	3,543	(1,795)
C:疾患名	4,212	(205)
D:化学物質および薬物	9,646	(1,286)
E:分析, 診断, 治療の技術と機器	2,321	(204)
F:精神医学	87	(59)
G:生物科学	2,064	(192)
H:自然科学	529	(40)
I:人類学, 教育, 社会学, 社会現象	486	(59)
J:工業技術, 産業, 農業	351	(41)
K:人文科学	149	(43)
L:情報科学	367	(36)
M:人間集団	197	(31)
N:保健医療サービス	1,146	(100)
Z:地理的位置	304	(303)

※複数カテゴリーを持つディスクリプタがあるため、カテゴリー別のディスクリプタ数の合計は、実際の語数よりも多くなっている。

表3 「Atorvastatin」の同義語

Atorvastatin Calcium
Atorvastatin Calcium Hydrate
Atorvastatin, Calcium Salt
CI-981
Lipitor
Lipimar
YM-548
アトルバスタチン
アトルバスタチンカルシウム
アトルバスタチンカルシウム水和物
アトロバスタチン
リピートル

図1 「AIDS」のカテゴリー

らみた分類、免疫不全という症候としての分類という4つの観点からカテゴリーコードが付与されている（図1）。

これらのカテゴリーコードにより、上位概念として示されている属性が、下位概念のディスクリプタに付加されている。病原微生物の生物分類のカテゴリーを例にとると、「AIDS」には、「ウイルス性疾患」、「RNAウイルス感染症」、「レトロウイルス科感染症」、「レンチウイルス感染症」、「HIV Infection」のすべてが属性として付加されている。このように、多面的で詳細なカテゴリーコードが付与されているため、ディスクリプタの持つさまざまな属性を、検索の中で活用することができるのである。具体的には、「医中誌Web」の「下位語も含む」検索において、このカテゴリーコードを活用し、ディスクリプタの概念の広さに応じて、そこに含まれる下位語も併せて検索される。

ただし、「AIDS」はすべて「HIV Infection」であるが、必ずしも「性行為感染症」ではない。このように上下関係にあっても、上位概念の中に下位概

念がすべて包含されている場合と、上位概念の属性が下位概念のすべてに該当するわけではない場合とが、混在している。これは、多少ノイズが含まれても、網羅的に検索されることが有用と判断したものを下位語に位置づけているためである。例えば、個別の薬物名には、（化学物質としてのカテゴリーに加えて）薬効別のカテゴリーを付与しているが、これは、ある薬効を持つ薬物が網羅的に検索できることを優先したためである（MeSHでは1996年より、薬効別のカテゴリーの下位に個別の薬物を位置づけることをやめ、薬効のディスクリプタを併せて付与する方針に変更されたため、医中誌独自の処理である³⁾）。

反対に、ノイズが含まれないように下位語から外す場合もある。例えば、「多施設共同研究」は、第5版では、「臨床試験」の下位に位置づけられていたが、第6版から「臨床試験」の下位から外し、より上位概念の「疫学的研究特性」の下位語に変更した。「多施設共同研究」は、臨床試験だけでなくコホート研究などの疫学的研究にも付与されるため、「臨床試験」の下位語も含む検索の際に、ノイズが含まれないよう考慮したためである。なお、大規模臨床試験など、多施設で行われる臨床試験は、「多施設共同研究」と「臨床試験」およびその下位語とを併せて付与する方針に変更し、過去の索引データのメンテナンスも行った。

2.2.3 関連参照語

「医学用語シソーラス」では、階層関係にはないが、関連の深いディスクリプタを、「関連参照語」として掲載している。これは「医中誌Web」の検索では、今のところ活用されていない。ディスクリプタの関連関係をどのように提示していくのか、その必要性も含め、今後の検討課題である。

3. 医中誌フリーキーワード

索引では、「医学用語シソーラス」の中から、ディスクリプタを選択して付与するのが原則である。ただし、「医学用語シソーラス」に登録されていない概念でも、索引上重要とみなされるものは、「医中誌フリーキーワード」として随時登録し、必要に応じて付与している。個別の文献では重要な概念でも、全体からみると頻度が低いものや、蛋白質などの物質名は膨大な数があるため、「医中誌フリーキーワード」として運用している。2008年9月現在で、約3万語が登録されている。

「医中誌フリーキーワード」のうち、頻度が高く、有用性が高いと判断されたものは、改訂時に、シソーラスのディスクリプタとして収録されることもある。

4. 副標目

ディスクリプタと組み合わせて付与するもので、そのディスクリプタが文献中でどのような観点で扱われているかを示す。MeSHの“Subheadings”（“Qualifier”とも呼ぶ）にあたるもので、35個ある副標目のうち、MeSHと共通のものは32個、「精神

療法」、「予後」、「実験的」の3個は、医中誌独自の副標目である。ある薬物が治療に使用されているのか、その毒性や副作用について述べられているのか等、1つのディスクリプタでも文献によって、扱われている観点が異なる。適切な副標目をディスクリプタに併せて付与することで、より詳細な検索ニーズに応えることができる。

副標目は、ディスクリプタのカテゴリによって、付与可能かどうかが決められている。薬物（Dカテゴリ）による有害事象であれば、副標目は「毒性・副作用」を付与し、手技名（Eカテゴリ）に付与する「有害作用」や、疾患名（Cカテゴリ）に付与する「合併症」は付与しない（表5）。

ただし、副標目の付与について、例外的な扱いをしている場合がある。ディスクリプタの意味の中に、副標目の内容がすでに含まれている場合、その副標目は重ねて付与しない。例えば、「薬疹」に副標目「化学的誘発」、あるいは「血糖」に副標目「血液」は付与しない。反対に副標目を付与することの有用性が高いと判断したものは、該当するカテゴリでなくとも付与可能としているものがある。例えば、F1カテゴリの「抑うつ」は、カテゴリからみると副標目は付与できないことになるが、疾患と同様に治療や診断が行われることも

表5 副標目一覧表（ ）内は付与可能カテゴリ

薬物・化学物質に関する副標目	診断に関する副標目	治療に関する副標目	疾患の原因などに関する副標目	その他
薬理学 (B6※, D)	診断 (C, F3※)	治療 (C, F3※)	病因 (C, F3※)	疫学 (C, F3※)
毒性・副作用 (B5※, B6※, D, J2※)	画像診断 (A, C, F3※)	薬物療法 (C, F3※)	遺伝学 (C, F3※)	予後 (C, F3※)
治療的利用 (B5※, B6※, D, H, J2※)	X線診断 (A, C, F3※)	外科的療法 (A, C, F3※)	免疫学 (C, F3※)	実験的 (C, E, F3※)
診断的利用 (D)	放射性核種診断 (A, C, F3※)	移植 (A, C, F3※)	化学的誘発 (C, F3※)	
類似体・誘導体 (D)	超音波診断 (A, C, F3※)	食事療法 (C, F3※)	合併症 (C, F3※)	
拮抗物質・阻害物質 (D)	病理学 (A, C, F3※)	精神療法 (C, F3※)	転移性 (C4※)	
血液 (D)		放射線療法 (C, F3※)	欠損・欠乏 (D)	
尿 (D)		看護 (C, E, F3※)	有害作用 (E, H)	
		リハビリテーション (C, E4※, F3※)		
		予防 (C, F3※)		

※B5：真菌，B6：植物，C4：腫瘍，E4：外科手術，F3：精神障害，J2：食品と飲料

多いので、「薬物療法」等の疾患名に付与する副標目を付与可能としている。また、文献で予防という観点で扱われることが多い「自殺」には、副標目「予防」を付与可能としていることなどがあげられる。

5. チェックタグ

文献の内容を特徴づけるいくつかの観点を示すもので、以下のものがある。

文献に書かれた対象の属性を表すタグとして、「ヒト」，「動物」，動物の種類（「マウス」，他），年齢区分（「新生児」，他），性別，「妊娠」がある。

研究デザインを表すタグとして，「メタアナリシス」，「ランダム化比較試験」，「準ランダム化比較試験」，「比較研究」（以上は原著論文に付与），「診療ガイドライン」（解説文献に付与）がある。なお，文献で実際にその研究デザインが用いられている場合には，タグと重ねて該当の研究デザインのディスクリプタを付与するが，その研究デザインを説明するなど，主題として論じられている場合には，ディスクリプタのみを付与する。

他に，文献の分類を表すタグとして，「看護」，「歯学」，「獣医学」があり，これらの専門分野の文献に付与する。

これらのタグは「医中誌Web」で，検索対象を絞り込むために用いられる。

6. 索引ルール

索引の目的は，文献検索において利用者が必要とする文献に，的確に効率よくたどり着くことである。そのためには文献内容を正確に表現し，索引者による個人差の少ない均質な索引がされなければならない。当会では，膨大な文献をすべて人手により索引するので，多数の索引者が索引作業

を行っている。そのため，索引の均質性，一貫性には特に注意が払われ，索引についての全般的な原則から，ディスクリプタごとの注意点まで多数のルールが定められている。このうち主な原則を以下に述べる。

6.1 正しいディスクリプタの選択

ディスクリプタは，シソーラスで定められた定義に基づき使用される。例えば“中高年のコンピュータアレルギー”（心理的な拒否反応の意）と記載された文献について，「医学用語シソーラス」で免疫疾患として位置づけられている「アレルギー」は付与しない。

6.2 特定性の高いディスクリプタの選択

索引したい概念の表す広さに対して，カテゴリー階層上最も適合した（特定性の高い）ディスクリプタを選択する。文献タイトルに“糖尿病”と記載されていても，本文に記載されている内容が，2型糖尿病に関するものであったら，下位語の「糖尿病-2型」を付与する。概念の広さがぴったりに一致したディスクリプタが無い場合，階層上最も近い上位のディスクリプタを付与する。

6.3 組み合わせによる索引

索引したい概念と同じ意味のディスクリプタが無い場合，ディスクリプタと副標目，あるいはディスクリプタとディスクリプタを組み合わせることで，それを表すものがある。例えば，“転移性肝癌”は，「肝臓腫瘍」＋副標目「転移性」を付与する。「腫瘍転移」というディスクリプタもあるが，これは，「腫瘍転移」という現象を，特に取り上げて論じている場合に付与する。

ディスクリプタとディスクリプタの組み合わせのパターンには、部位名+疾患名、病原微生物名+疾患名などがある。例えば“^{しつか}膝窩静脈血栓症”は、「膝窩静脈」+「静脈血栓症」を、“O-157感染症”は、「Escherichia coli O157」+「大腸菌感染症」を付与する。

腫瘍の索引は、組み合わせによる索引の典型的なものである。どこに発生したかを示す部位別の腫瘍のディスクリプタと、組織型のディスクリプタを組み合わせで付与する。例えば胃に発生した平滑筋肉腫であれば、「胃腫瘍」と「平滑筋肉腫」を付与する。

以上、索引に関する原則のうち主なものを述べた。

当会で定めた多数のルールが、「インデクシングマニュアル」としてまとめられ、索引者はこのマニュアルに則して索引する。索引ルールの理解を深めるために、研修会を定期的に開催するなどして、索引の質の向上が図られている。

なお、インデクシングマニュアルは、近々、当会ホームページで、公開予定である。

URL: <http://www.jamas.or.jp/index.htm>

7. データベース作成システムにおける索引支援機能

当会では、1996年に編集工程のOA化を実施し、「医中誌Web」に収録するデータの作成を、すべて会内LAN上に構築されたデータベース作成システムにて行うようになった。索引データ作成は、実際に索引作業を行う「索引作業画面」と、ディスクリプタに関する情報を管理する用語管理のシステムにより行われる。

このシステムは、シソーラスの改訂に合わせてバージョンアップが行われ、2006年12月より、第6版シソーラスデータを搭載した新しいシステムによる索引作業が開始された。新システムにおいては「索引の質の維持」と「効率性」という、ともすれば相反することとなりかねない2点の両立を目的に、索引支援機能を充実させた。以下に、用語管理のシステムと「索引情報画面」および索引支援機能の概要を紹介する⁴⁾。

種類	用語ID	用語名称	JIS	JIS-RIS	別称
0	00419945	糖尿病	トウニョウビョウ	トウニョウビョウ	
2	00082381	Diabetes	diabetes	diabetes	
2	00082999	Diabetes Mellitus	diabetes mellitus	diabetes mellitus	
2	00089218	DM (Diabetes mellitus)	dm (diabetes mellitus)	dm (diabetes mellitus)	
2	00229632	Primary Diabetes	primary diabetes	primary diabetes	
2	00227453	一次性糖尿病	イチセイセイトウニョウビョウ	イチセイセイトウニョウビョウ	
2	00387153	毒性糖尿病	シンセイセイトウニョウビョウ	シンセイセイトウニョウビョウ	
2	00082448	Diabetic Cardiomyopathy	diabetic cardiomyopathy	diabetic cardiomyopathy	
3	00082441	Diabetic Gastroenteropathy	diabetic gastroenteropathy	diabetic gastroenteropathy	
3	00082493	Diabetic Sclerodema	diabetic sclerodema	diabetic sclerodema	
3	00252050	境界型糖尿病	キョウカイガクニョウビョウ	キョウカイガクニョウビョウ	
3	00419959	糖尿病-境界型	トウニョウビョウ-キョウカイガク	トウニョウビョウ-キョウカイガク	

図2 用語管理のシステム 「TOP」画面と「同義語」画面

図3 「索引情報画面」と「キーワード検索画面」

7.1 用語管理のシステム

用語管理のシステムでは、1つのディスクリプタとその同義語からなる概念のまとまりに対して、ユニークなID番号を付与することで、ディスクリプタと同義語の関連づけを行っている。1つのID番号内には、ディスクリプタ、同義語、カテゴリーコード、用語の説明、インデクシング注意、典拠情報、付与可能副標目など、ディスクリプタ（概念）に関する情報が登録され、必要に応じて随時、追加・変更・削除が行われている（図2）。ここで編集さ

れた内容が、後述する「索引情報画面」の「キーワード検索画面」に表示される。

7.2 「索引情報画面」

「索引情報画面」には、1つの文献について書誌事項、抄録が表示され、索引者は、手元にある雑誌の文献に目を通しながら、内容に合ったディスクリプタ、副標目、チェックタグを、その画面の該当する箇所に入力していくことにより、索引作業を行う（図3）。付与されたタグ同士の整合性や、

付与されたディスクリプタについて用語管理のシステム内に登録されている情報を参照し、エラーメッセージを出すなどの索引支援機能が搭載されている。

7.3 キーワード検索画面

ディスクリプタの付与は、「索引情報画面」の「キーワード検索画面」で用語の検索を行い、そこに表示されたディスクリプタを選択し「採用」することによって行われる。この「キーワード検索画面」には、索引に必要な情報が集約されて表示されている（図3）。

7.4 同義語からの案内

先に述べたように、多数の同義語を登録しているため、文献中に出現した用語や思いついた言葉から検索して、統制先のディスクリプタに到達することができる。

7.5 カテゴリーの表示

「キーワード検索画面」から、カテゴリーの階層構造を表示させることができる。この機能により、文献内容に合致した特定性の高いディスクリプタの選択や、上位概念の確認などが容易にできる。

7.6 付随情報の表示

「キーワード検索画面」に、ディスクリプタの意味を示す「用語の説明」と、索引ルールに基づいた付与基準を示す「インデクシング注意点」を表示し、ディスクリプタの正しい選択を支援している。

7.7 索引支援語

先に述べたように、腫瘍は、部位別の腫瘍のディスクリプタと、組織型のディスクリプタを組み合わせで付与するが、このように複数のディスクリプタの組み合わせが決まっているものを、「索引支援語」として登録している。例えば、索引支援語として「胃平滑筋肉腫」が登録されており、これを選択すると「胃腫瘍」と「平滑筋肉腫」の2つのディスクリプタが付与される。

なお、「索引支援語」は、「医中誌Web」の検索においては、「検索支援語」として活用され、“胃平滑筋肉腫”と入力すると、「胃腫瘍」と「平滑筋肉腫」で、下位語を含まない掛け合わせ検索（and 検索）が自動的に行われる。

7.8 副標目およびチェックタグの付与ミス防止

先に述べたように、副標目はディスクリプタのカテゴリーによって、付与可能かどうかが決められているが、用語管理のシステム内では、よりきめ細かい対応が可能になるよう、個別のディスクリプタごとに付与可能な副標目を設定している。例えば前述した「自殺」には、「予防」のみを付与可能副標目として設定している。これにより、索引の際に、あるディスクリプタに対して付与可能としていない副標目が付与されたとき、エラーメッセージが出て保存ができないようにし、付与ミスを減らしている。

また、チェックタグの付与ミス防止のために、例えば、症例報告文献では、年齢、性別のタグが付与されていないと、注意を促すメッセージが出る等、さまざまな工夫がされている。

7.9 タイトルからのディスクリプタ抽出

バッチ処理にて、文献タイトル中の言葉を切り出し、それがディスクリプタあるいはその同義語に一致した場合には、自動的に該当のディスクリプタが付与される仕組みがある。1996年のOA化当時に開発され、その後、精度を上げる改良が加えられている。この「前処理」により、索引作業の効率化が実現した。索引者は自動的に付与されたディスクリプタの適否を判断し、不適切な場合には削除し、不足しているディスクリプタを追加する。

索引上有用でない用語は、用語管理のシステム内で、自動付与されないような処理を行っている。アルファベット、ひらがな、カタカナで3文字以内、漢字1文字といった文字数の少ない用語は、不

適切に切り出されてしまうことが多い。例えば、「肝右葉」から、植物の「葉」が切り出されてしまう。また、「治療」、「腫瘍」などは、概念として大き過ぎ、実際の索引には下位語を付与した方が適切な場合が多い。このような用語は、自動付与されない処理の対象となる。

8. まとめ

索引における「医学用語シソーラス」の役割を中心に、当会の索引ルールや、データベース作成システムにおける索引支援機能についても紹介した。今後、「医学用語シソーラス」の情報を、利用者にとってより利用しやすい形で開示していくことが望ましいと考えている。利用者の方々に広く活用していただけるよう検討してまいりたい。

参考文献

- 1) 佐久間せつ子. 医学中央雑誌データベースの特徴. 薬学図書館. 2007, vol.52, no.2, p.124-130.
- 2) 浜田雅美. 医学用語シソーラスの改訂. 薬学図書館. 2007, vol.52, no.4, p.358-367.
- 3) シソーラス研究会. “MeSH情報 PubMed検索での薬理作用関係のMeSH索引の変更”. 医学用語を歩く!. <http://homepage3.nifty.com/sisoken/>, (参照2008-09-26).
- 4) 白土裕子. 医学中央雑誌データベース作成システム (JAMAS2システム) について. 医中誌News. 2007, no.5, p.2-5.

著者抄録

「医中誌Web」は、国内で発行される医学およびその関連分野の定期刊行物2,500誌以上に掲載される文献情報を収録するデータベースであり、2000年よりサービスが開始された。収録文献数は、年間30万件以上で、現在650万件を超えている。各文献には、専門の索引者が「医学用語シソーラス」に基づき、主題にふさわしいディスクリプタ（見出し語）を付与している。「医学用語シソーラス」は、「医中誌Web」の索引および検索のツールであり、米国医学図書館が作成するMedical Subject Headings (MeSH) に準拠して作成されている。1983年発行の第1版から何度かの改訂をへて、MeSH2005年版に準拠した第6版が、2007年1月に発行された。第6版には、25,317語のディスクリプタが収録され、それに関連づけられた30万語以上の同義語が、用語管理システム内に登録されている。これにより、索引の際の的確なディスクリプタの選択が容易

になっている。さらに、「医中誌Web」において、シソーラスを意識せず的確な検索結果を得るための、ディ
スクリプタへの自動マッピング機能に活用されている。本稿では、「医学用語シソーラス」に基づく索引
ルールや、医中誌データベース作成システムのうちの、索引支援システムについて紹介した。

キーワード

医中誌Web, 情報検索, シソーラス, 索引作成, データベース管理システム

Author Abstract

"Ichu-Shi Web" is the database that contains bibliographic citations and abstracts from more than 2,500 biomedical journals and other serial publications published in Japan. It was started in 2000. The number of citations is more than 300,000 per year and now exceeds 6.5 million. Trained indexers attach descriptors (controlled keywords) that are relevant to the subject contents of each article, based on the "Thesaurus for Medical and Health-Related Terms (Ichu-Shi Thesaurus)". We have edited and published the thesaurus as a tool for indexing and searching since 1983. The 6th edition based on the US National Library of Medicine's Medical Subject Headings (MeSH) 2005 has been published in January 2007. It contains 25,317 descriptors and more than 300,000 synonyms that are connected with each other (mapping) in the thesaurus management system. Using the system, indexers can easily find descriptors suitable to the article. Furthermore "Ichu-Shi Web" automatically performs descriptors search using a mapping feature, without referencing the thesaurus in advance. Here we described the current indexing rules of the Ichu-Shi Thesaurus and the indexing support function, a part of the total Ichu-Shi database processing system, which has been newly developed.

Key words

Ichu-Shi Web, information retrieval, thesaurus, indexing, database management system